

## バグダッド日誌(4月25日)

### ○武器手入

ここバグダッドは、24時間個人装備火器の携行が義務づけられており、武器がなければ、食堂へも入れない。バグダッド到着当初は、「腰が重い」とか「歩きづらい」と感じたが、今は武器がないと非常に違和感を感じる。

体重減少のため胴回りが小さくなったらしく、弾帯の長さ調整を怠っていると、拳銃の重さにより知らないうちに弾帯が斜め掛けになっていたようだ。現在、右腰骨付近に「拳銃づれ」ができてしまい、皮がむけて非常に痛い。しかしながら、その痛さが銃の保持を思い出させてくれ安心感がある。

毎週火曜日は武器・弾薬の点検を実施し、サマーワに異状の有無を報告する。この時には必ず武器手入れを実施して、いざというときに手抜かりの無きように心がけている。

今年のバグダッドは異常気象のようで、4月になってからも毎週のように雨が降っており、例年の如く砂嵐もある。油断していると武器にはあつという間に錆がでて、また砂が入って作動不良となってしまう。雨で濡れた日、砂嵐の日の武器手入れは欠かせない。

本日は火曜日、心をこめて武器に錆が無い確認し砂を落としながら、これを使う機会がないことを祈っている。

( )

### ○Great Japanese Weapon

英軍との調整のためパレスを歩いていると、コアリション・オペレーション部の副部長の大佐に出会った。その大佐は、以前班長が紹介したように、大の日本びいきで、ボートはヤンマー、時計はセイコー、車は日産、等々。特に時計に至っては、30数年間同じセイコーを使っており、「この時計が止まるときは、僕の人生も止まる。」とまで言及されているほどだ。その大佐が、私の所持している小銃を見つけて、「見せてくれないか？」と言われた。私が小銃をわたすと、大佐は手に取り、興味深げに覗めるように見直し、「何て言う銃だ?」「タイプ89です。」「5.56か?」「はい、そうです。」「やっぱり、日本製は素晴らしい。うちの銃なんか...。」と首を二・三度振り、嘆いておられた。挨拶した後、英軍LOの方に向かおうとしたとき、「君、さっきの銃の名前は、何て言ったかな?」と後方から再び尋ねられた。「タイプ89です。」「ありがとう。」と去って行かれた。普段、常時携行していて、やや不便だと思っている小銃ではあるが、MADE IN JAPANはやっぱり素晴らしいと言ってくれる人がいると、鼻高々である。大佐以外にも、89式小銃に興味を示す他国の軍人は大勢いる。この小銃を製作していただいているメーカーの耳に届けてあげたいくらいである。もちろん、定期的に手入れをして、不測の事態には万全を備えている。異状なし。

( )



## バスラLO日々業務報告(4月25日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 ( ) (警戒態勢): 「 ( ) 」
2 特記事項	(1) ( ) (2) ( ) ( )
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集: ( ) (3) 定例会議への出席: 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 業支隊長バスラ出張対応 (5) 空路輸送調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (4) 業支隊長バスラ出張(指揮官会議参加)対応 (5) 空路輸送調整
5 その他(備考)	* R&R ( )